

2. 流域治水協議会に関する取組

3) 令和4年度の流域治水 ソーシャルアクション実施状況

令和5年3月13日

流域治水ソーシャルアクション

河川管理者だけでなく、あらゆる関係者が主体となり、流域に関わるみんなで治水対策を行う“流域治水”を推進すべく、流域にお住まいの市民・企業等も協働で流域治水に参画していただくための具体的な取組“流域治水ソーシャルアクション”、流域治水を知って頂く“戦略的広報”を進める。

流域治水見える化マップ(風呂ためキャンペーン)

- 市民のみなさんの流域治水の取組を促進するため、家庭等で実施する流域治水の取組の実施状況を投稿・共有する「流域治水見える化マップ」を公開予定。

家庭などで流域治水の取組を実施

- ハザードマップ確認
- マイタイムライン作成
- 大雨時の風呂ため
- 道路の排水路清掃
- 庭の緑化 など



実施した取組を投稿

流域治水投稿フォーム

実施日*
2022/4/1

実施箇所*
実施箇所を地図上で選択してください。個人情報にのみが各種投稿は公開されません。

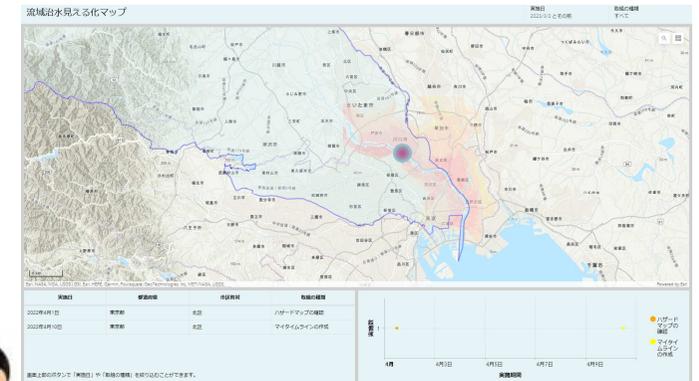
住所または場所の検索

取組の種類*

実施した取組を選択してください。

- 河川の状況の確認
- ハザードマップの確認
- マイタイムラインの作成

実施状況を地図上で共有 “見える化”



出典
ミズベリング的流域治水ソー
シャルデザイン2022から抜粋

流域治水ソーシャルアクション

R4.8.27 荒川放水路通水100周年 777日前イベント（一日所長体験会）

- 荒川放水路通水100周年の777日前イベントとして一日所長体験会を開催。
- 小学校5・6年生を対象に体験型で荒川について多く勉強。
- 今年度100周年・50周年を迎える大河津分水・関屋分水とのコラボも実施。
- 岩淵水門の見学や災害対策室で災害対応の体験により、流域治水を実感



流域治水ソーシャルアクション

R4.10.29 岩淵水門40周年アニバーサリー

- 岩淵水門が完成して40周年の節目にアニバーサリーイベントを開催。
- 岩淵水門見学、災害対策車両乗車体験、東京マイ・タイムライン作成セミナーを開催。
- イベント会場には「流域治水」を紹介するパネル展示等によりPRを実施。
- 同日に開催されていた隅田川道中（和楽器集団が隅田川を2日間かけて上流から下流まで練り歩くイベント）ともコラボを実施。



岩淵水門見学



東京マイ・タイムライン作成セミナー(東京都)

『隅田川感嘆』ご参加ありがとうございました！
@sumidagawadotou
#隅田川道中 練り歩き中
先導旗をご協力頂いている方々に持って頂いています



岩淵水門四十周年の文字が入った旗と法被を作っていました！

切腹ピストルズ(和楽器集団)を旗振りし先導する出口事務所長



災害対策車両への乗車体験



岩淵水門前で関係者一同記念写真



流域治水紹介パネル展示

流域治水ソーシャルアクション

R5.2.26 「第18回 川でつながる発表会」(新河岸川流域川づくり連絡会)

- 新河岸川流域内の学生や市民団体が、「いい川づくり」をテーマに日頃の活動成果を発表し、様々な世代が川や流域について交流する場として「第18回川でつながる発表会」を荒川下流河川事務所で開催。
- 3年ぶりの対面開催となった今年は約60名の市民、学生が参加し、参加者同士の活発な交流を実現。
- パネルによる“流域治水”のPRや、3Dハザードマップ、VR体験、岩淵水門見学、巡視船乗船体験を実施。

<発表会パンフレット、プログラム>

参加無料 第18回
川でつながる発表会
令和5年2月26日(日)
10:00~16:30 (受付9:45開始)

新河岸川流域内の学生や市民団体が、「いい川づくり」をテーマに日頃の活動成果を発表し、様々な世代が川や流域について交流する場として、発表会を開催いたします。

荒川下流河川事務所
東京都北区志茂 5-41-1 赤羽駅より徒歩約20分
※赤羽駅からシャトルバスを運行予定です。

9:45~10:00 受付
10:00~10:10 開会
10:10~12:00 見学会
12:00~13:00 昼休憩
13:00~14:30 発表会
14:40~16:15 交流会
16:15~16:30 閉会

過去の川でつながる発表会の様子

お問合せ
新河岸川流域川づくり連絡会事務局
■国土交通省 荒川下流河川事務所 流域治水推進室 ■日本工営株式会社 防災マネジメント部 安井
TEL: 03-3902-3220 FAX: 03-3902-2346 TEL: 03-3238-8257 FAX: 03-3262-4451

- 新河岸川流域川づくり連絡会
国土交通省荒川下流河川事務所/不老川流域川づくり市民の会/砂川壩流域川づくり懇話会/柳瀬川流域ネットワーク/川づくり・清瀬の会/黒目川流域川づくり懇話会/白子川と流域の水環境を良くする会/あいかも会/東川を愛する会/エコシティ志木/空堀川を考える会/かわごえ環境ネット/北川カッパの会/白子川源流・水辺の会/所沢源流の会/東久留米・ホテルを呼び戻す会/東久留米ほどとけしようを守る会/和光自然環境を守る会/N P O 法人空堀川に清流を取り戻す会
国土交通省関東地方整備局/流域自治体

<発表会>



4団体から活動状況の発表



参加者から共感の声



参加者みんなで記念撮影

<交流会>



各種団体からの説明と交流



流域治水の説明、PR



3Dハザードマップ、VR体験

<見学会>



荒川知水資料館amoAの見学



岩淵水門機械室の見学



乗船体験

流域治水ソーシャルアクション

R5.3.25・26 4箇所同時開催！荒川周遊キャンペーン「#いいね荒川」（予定）

- 荒川流域（板橋区、川口市、北区、浮間公園）連携によるイベント「いいね荒川」を予定。
- 通水100周年に向けて「いいね荒川」と思っていただけの地域づくりを目標に、荒川下流域の4つの会場で同時にイベントを開催。
- 各会場を回遊しながら自然、生き物、アウトドア、アクティビティ等の様々なコンテンツを体験し「いいね荒川」と言えるような空間をみんなと一緒に作っていくことを目指す。
- 災害対策支援船乗船体験や、自治体・観光協会との連携による水門をモチーフにした飲料の販売、記念品の配布等により、流域治水を実感。



板橋区：リバーサイドフェスティバルあらかわ2023
<https://riverfes-arakawa.com/>



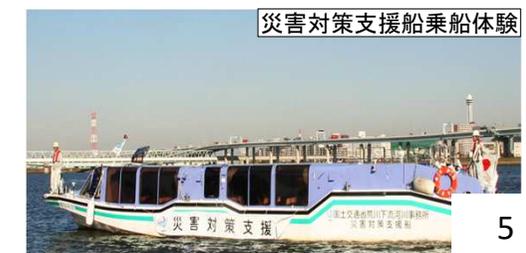
都立浮間公園：浮間公園 公園へ行こう！
<https://www.tokyo-park.or.jp/park/format/index009.html>



川口市：ミズベリング川口「いいね荒川」
<https://www.1110city.com/hot-news/others/2023/032602.html>



北区：AKABANE PICNIC FESTA2023 with Dog
<http://www.kanko.city.kita.tokyo.jp/2023/03/01/%EF%BC%94/>



流域治水ソーシャルアクション

7/7の川の日に“あらかわ流域酒場”を開催（WEB）

- 流域を理解、実感していただくため、「水辺で乾杯」を開催し、流域治水をPR。
- 市民団体を始め、計15団体、45名程のみなさまが集い、荒川の“流域治水、環境、利用、放水路通水100周年、未来の夢”等について語り合う。

<参加団体数、人数>

市民団体3団体（約15名）、民間等2団体（3名）、沿川自治体・観光協会7団体（約10名）、国土交通省（荒川流域）（17名）

7月7日7時7分 かんぱ〜い！！



酒のつまみに、出口所長から市民のみなさまへ流域治水の取組を説明。
「by ALL！！」を呼びかけ

「水辺で乾杯」とは？

…川の日である7月7日午後7時7分に水辺に赴き乾杯し、水辺を粋に静かに楽しもうという試み2015年から開始され、会場は全国の水辺



ミズベリング的流域治水ソーシャルデザイン
2022から抜粋

流域治水
||
<英訳>
River Basin
Disaster Resilience and Sustainability
by All
||
河川を舞台にした
強靱で持続可能な地域づくりを
みんなで取り組む！！

流域治水ソーシャルアクション

R5.2.13 荒川水系（東京ブロック・埼玉ブロック）流域治水協議会 合同現地見学会

- 東京ブロック・埼玉ブロックの連携・交流を図るため、各協議会への相互参加（取組情報の共有）、交流をスタート。
- 令和5年2月13日には、東京ブロック・埼玉ブロックの全構成員に声かけをして、合同現地見学会を初開催し、総勢46名（25団体）の方が参加。

<全体行程>



<AM: 荒川下流の流域治水(amoa、新田地区高規格堤防、足立区都市農業公園(鹿浜))>



荒川下流部の
流域治水について説明



荒川放水路等の概要説明
(amoa)



高台まちづくり・賑わい創出の説明
(足立区都市農業公園(鹿浜))

高規格堤防整備の説明
(新田地区高規格堤防)

<PM: 荒川第一調節池(彩湖自然学習センター)>



荒川第一調節池の概要説明



<PM: 荒川第二・三調節池(あらいけDX体験館)>



荒川第二・三調節池事業の概要説明



完成予想をVR体験

流域治水ソーシャルアクション

R5.2.18 市民講座「みんなで取り組む流域治水」（荒川放水路通水100周年企画）

- 2024年10月12日に荒川放水路通水100周年を迎えるにあたり、令和5年2月18日に市民講座を開催し全国から101名の方が参加。
- 市民講座では、未来の100年を見据え、流域治水の取組を地域住民、企業の方に知って頂くことを目的に、2名の講師を迎えご講演。
- また、講演後には、講師と事務所長を交えたトークセッションを実施。荒川放水路通水100周年への思い、流域治水に期待すること等を議論。

<市民講座パンフレット、プログラム>



<土屋氏、岩本氏講演>



土屋氏講演



岩本氏講演

<トークセッション>



事務所長説明



流域治水、賑わい等の議論

- 13:30 開場
- 14:00~ 開会挨拶(荒川下流河川事務所長出口桂輔)
- 14:10~ 講演1 土屋信行氏
「荒川の治水・水害の歴史と流域治水」
- 15:00~ 講演2 岩本唯史氏
「時代が変わった、楽しもう『ミズベリング的流域治水』」
- 15:40~ トークセッション
土屋信行氏、岩本唯史氏、出口桂輔所長
- 17:00 閉会

<講座終了後...>



終了後も参加者からの質問等で大人気



荒川3Dハザードマップ、VRコーナーも大人気

流域治水ソーシャルアクション

東京マイ・タイムラインセミナーの実施（東京都）

- 市民・マンション管理組合、企業、学校等を対象に「東京マイ・タイムライン」等を題材にマイタイムラインの作成セミナーを開催。
- 令和4年度は、
東京防災学習セミナー（対象：自主組織や町会・マンション管理組合等）
⇒13回、234人受講
東京マイ・タイムライン親子セミナー（対象：親子）
⇒4回、121人受講
働く人のためのマイ・タイムライン作成セミナー（対象：各企業の経営幹部・防災担当者）
⇒3回、34人受講
その他
⇒都内各所で81回のセミナーを開催
- VRゴーグルによる防災対応の体験も実施。



セミナーの様子



令和4年度 東京都・品川区
合同総合防災訓練
(R4.9.3)



喜多見二丁目自治会(世田谷区)
向けセミナー
(R4.8.18)



VRゴーグル体験



令和4年度 東京都・品川区
合同総合防災訓練
(R4.9.3)

流域治水ソーシャルアクション

モデル地区における避難訓練支援（板橋区）

- ・板橋区のコミュニティ防災モデル地区のうち、新河岸地区において、荒川氾濫の浸水被害を想定した水害避難訓練を令和4年7月3日に実施。
- ・新河岸地区は、荒川氾濫時において、ほぼ全域で浸水深が5 m以上、浸水継続時間が2週間以上を想定している地区。
- ・訓練は住民主体で企画・運営され、移動支援事業者等の協力を得て、高台の避難所まで実際の避難を実施。なお、参加者は高齢者等要支援者を含め約100人規模。
- ・訓練終了後にアンケートを実施し、訓練を通じて課題を抽出、今後の避難方法、実効性のある水害避難ルールブック、コミュニティタイムラインの作成等を支援。

■実施概要

日時 令和4年7月3日（日）

対象者 新河岸地区在住約100名程度

実施主体 新河岸水害対策研究会、新河岸地区町会・自治会

訓練実施場所 新河岸小学校前道路（新河岸一丁目3-1）
→北野小学校（徳丸三丁目23-1）

協力事業者

- | | |
|-----------------|----------|
| (1) 観光バス会社（1社） | マイクロバス1台 |
| (2) タクシー会社（2社） | タクシー6台 |
| (3) 葬儀会社（1社） | マイクロバス2台 |
| (4) 地元野球チーム（1社） | マイクロバス1台 |



水害避難訓練の実施状況
（写真は板橋区より提供）

■実施結果・課題抽出

- ・避難所までの避難経路・方法を実際に体験・体感してもらい、避難訓練後に実施したアンケートでは、7割以上の方が「防災意識が向上した」と回答して頂いた。
- ・今回実施したバス・タクシーなどの避難方法は高齢者や障がい者等を優先すべきとの回答が7割程度であり、要支援者の避難方法の一つとして考えられる。
- ・要支援者全てをこのような方法で避難させるのは難しいため、この避難方法の運用方法、水害避難ルールブック及びコミュニティタイムラインへの反映等が今後の課題である。

パンフレット（作成中）

- 流域治水プロジェクトについて、企業や一般の住民の方向けの広報用パンフレットを作成中。
- 流域治水が必要な背景や市民・企業が行う流域治水の取組とともに、流域治水に関する支援制度も掲載
- 「支援事業の詳細」や「自治体等の連絡窓口等」を掲載する荒川下流河川事務所のWEBページにリンク予定

流域治水をしないとうなる？

日本の都市の多くは、洪水時の河川水位より低い土地にあり、洪水氾濫に対する危険性がとても高いです。

流域治水がすすまないと、洪水や浸水などの被害によって、わたしたちの住む町が水浸しになり、電車やバスなどの公共機関が機能しなくなったり、生活環境が大きく変わる可能性があります。また、水害の影響で、復旧や修繕に多大なお金や時間がかかるなど、社会全体にも大きな影響を与える可能性があります。

近年、毎年のように全国各地で自然災害が発生

平成27年9月関東・東北豪雨
平成28年8月台風10号

東野川の堤防決壊による浸水被害（茨城県草野町）
小水川の氾濫による浸水被害（栃木県草野町）
平成30年7月豪雨
全知元年 東日本台風

小田川における浸水被害（岡山県倉敷市）
千曲川における浸水被害状況（長野県長野市）

流域治水をしない川から水があふれて水浸しになってしまうんだね。川の水があふれないように、誰でもできるような取り組みが行われているのかな？わたしたちにもできることはないかな？

流域治水の主な支援事業はこちらをご覧ください

2023年●●●●日時点

内容	支援策	交付金等
雨水貯留浸透施設 各戸貯留 池沼及びため池 等	交付金	流域貯留浸透事業
下水道施設（雨水管、雨水ポンプ、雨水貯留施設等）の整備、耐震化、耐水化	税制特別	浸水被害対策のための雨水貯留浸透施設の整備に係る特例措置（固定資産税）
既存住宅の浸水対策改修	補助金	長期優良住宅化リフォーム推進事業
学校及びスポーツ施設の防災機能の向上	補助金	私立学校施設整備費補助金
避難場所の確保	補助金	地域防災拠点建築物整備緊急促進事業
要配慮者利用施設（医療機関、社会福祉施設等）の浸水対策	交付金	医療施設浸水対策事業
事業継続力強化計画認定制度	税制特別 交付金	中小企業防災・減災投資促進税制 中小企業強靱化対策事業（中小機構運営費交付金）
グリーンボンド	補助金	適応プロジェクト等のグリーンプロジェクトの活性化に向けたグリーンボンド等環境体制整備支援事業

詳しくはこちら
<https://www.ktr.mlit.go.jp/orage/RBDRS.html>

みんなて取り組む！流域治水

River Basin Disaster Resilience and Sustainability by All

わたしたちができることはなんだろう？

流域治水ってなんだろう？

流域治水の「流域」とは…
雨水が川に集まってくる範囲「集水域」と、洪水が起きたときに氾濫水が広がる範囲「氾濫域」を合わせたものです。

治水とは…
水害を防ぐことを「治水」と言います。「水を治める＝おとなしくさせる」の意味です。

「流域治水」とは…
主に以下の3つの対策があります。

- ①氾濫域をできるだけ狭く減らす。
- ②被害対策を減らす。
- ③被害軽減、早期復旧

それぞれの詳細な事例は、次ページ以降に掲載しています。河川だけではなく、流域のあらゆる人が協働して水災害対策を行います。

流域治水のイメージ

なぜ今、流域治水なの？

これまでは、過去の降雨や水位などから水害を防ぐ計画を立てていました。しかし、気候変動の影響で水害が増加傾向となっています。

増加傾向
約1.4倍

2014 2015 2016 2017 2018 2019
2010-2019年
2010-2019年
2010-2019年
2010-2019年

このことから、流域治水の重要性が高まっています。これからは、行政等河川管理者だけでなく、企業、自治体など、わたしたちを含めあらゆる人が、あらゆる場所で流域治水に取り組む必要があります。

だからみんなて流域治水に取り組む必要があるんだね！
具体的にほんなにできるかな？

お問合せ・ご連絡先

荒川下流河川事務所
Arakawa Karyu River Office

〒115-0042 東京都北区志茂5-41-1
電話：03-3902-2311（代表）

発行：国土交通省 関東地方整備局 荒川下流河川事務所
<https://www.ktr.mlit.go.jp/orage/index.html>

国・自治体のとりくみ

① 氾濫をできるだけ防ぐ・減らすための対策

- 堤防整備**
川岸や堤防などをコンクリートや石で固めて、洪水などから守る護岸整備をしています。また、荒川の下流部では「高規格堤防」の整備を進めており、大規模な洪水でも堤防が決壊することを防止します。
- 河道掘削**
川底や河川敷を掘ることにより、大雨の時に流れる水の量を増やして洪水を防ぎます。
- 調節池整備**
洪水を一時的に調節池にためておくことで、下流部へ流れる洪水の量を減らし、安全な流れを保ちます。
- 雨水貯留浸透設備**
主に小流域での氾濫や内水による浸水被害の軽減に効果があります。全国で取組を展開しています。

② 被害対策を減少させるための対策

- 高台まちづくり**
高台まちづくりには、建築物等によるもの、高台公園を中心としたもの、高規格堤防の上面を活用したものがあります。建築物、高台公園、高規格堤防を活用し、平常時には賑わいのある公園や住宅、浸水時には避難場所や救出救助等の活動拠点となるまちづくりを推進します。
- 土地のリスク情報の充実**
3Dハザードマップや水害リスクマップを公表し、水防情報の発信を強化しています。浸水範囲と浸水頻度の関係をわかりやすくし、洪水時の迅速な避難ができるように情報提供します。

流域治水対策ってどのようなことをするの？

堤防整備
高規格堤防（新田地区）

河道掘削
高規格堤防整備

調節池整備
荒川第二・三調節池整備事業

高台まちづくり
治水ダムの再生
ダムの連携・事故防止
安全な土壌への確保
緑地の活用
森林整備・池山対策
避難場所の整備
田んぼで雨水貯留
住宅での雨水貯留支援
雨水貯留浸透設備の整備
高規格堤防の整備
バリアフリー化
公園・校庭貯留の整備
バリアフリー化
商業集積型
河川利用

土地のリスク情報の充実
3Dハザードマップ
水害リスクマップ
水害リスクマップ
様々な規模の洪水の浸水範囲を確認することができます。

家庭でできるとりくみ

危険を知ろう！
住んでいる地域のハザードマップを見て、水害リスクや危険を知ろう！

マイタイムラインを作成しよう！
住んでいる地域の危険がわかたら、洪水が起こった時にどうするかを考え、マイタイムラインを作成しよう！

災害時の河川状況把握
国土交通省や関東地方整備局では、水害時の避難に役立つ河川情報を公表しています。洪水発生時を活用することで氾濫の危険性を把握することができます。

洪水時に心がけたいこと
洪水時に、川や下流まで流れる水を減らすためには、家からの排水量を減らすことも大切です。大雨で川が氾濫している時は、浸水しやすくなるので、お風呂や洗濯機の水をなるべく溜めないようにしましょう。

普段時に心がけたいこと
排水路に落ちやすいゴミやごみなどがないように、雨が降ってきた時に、排水路の清掃をしましょう。

雨水貯留浸透設備の整備
流域で雨水を貯留・浸透させ、水害リスクを減らすことができます。個別住宅等の小規模施設に対する助成制度を導入している事例があります。

企業でできるとりくみ

様々な規模の洪水の浸水範囲を確認することができます。

水害リスクマップ
水害リスクマップ
様々な規模の洪水の浸水範囲を確認することができます。

事業継続計画（BCP）の作成
企業は、災害時でも事業を継続したり早期に再開して、被害の発生をできるだけ小さくする必要があります。そのため、優先する業務や、災害時の対応の手順をあらかじめ決め、BCPを作成しておくことが重要です。

行政や企業だけに任せるのではなく、わたしたちも主体的にみんなて、流域治水に取り組む必要があるんだね！